

令和3年度(第14回)国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の受賞について

循環のみち下水道賞は、健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた事例を表彰する、平成20年に創設された国土交通大臣賞です。

令和2年9月、コロナ禍で開催された東松島市立矢本西小学校の運動会において、感染予防対策を行いながら実施したマンホールトイレの使用訓練での取組が評価され受賞となりました。

令和元年度(第12回)の「広報・教育部門」受賞に続く2回目の受賞になります。



朝日国土交通大臣政務官からの賞状授与の様子（令和3年9月10日）
（新型コロナウイルス感染防止のためオンラインで行われました）

・取組の概要について

本市では、災害時の断水や停電でも利用できる「災害用マンホールトイレ」について、小中学校や市民センターなど16箇所に100基以上設置しています。

「災害用マンホールトイレ」は、有事の際に利用してこそ意味のあるものです。

このことから、本市では「見て触る」ではなく、「実際に使ってみる」というコンセプトで、市内で開催されるイベント等において、会場トイレとして来場者に実際に利用してもらう取組を進めています。

今回受賞した取組は、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中で開催された市内小学校運動会でのマンホールトイレの使用訓練において、感染予防対策を行いながら実施、検証しました。

トイレ設置には地域住民の方々を主体に行い、当日は保健師が常駐し指導しながら、運動会もコロナ対策のため密を避けるプログラムで、トイレ使用者が分散し混乱もなく使用できましたが、課題もいくつか見つかりました。

また、運営時には、敷地内の一方通行、ペーパータオルの使用、手洗いと消毒、手押しポンプ使用の忘れ等について声掛け（指導）を行いました。

災害はいついかなる時に起こっても不思議はありません。

引き続き、市で開催される運動会や市内イベントを通じて、普及啓発に取り組んでいきたいと考えています。

防災・減災部門

マンホールトイレの新型コロナウイルス感染症対策 ～運動会で検証～

東松島市

受賞事例の概要

小学校の運動会において、マンホールトイレの使用訓練を行うにあたり、コロナ禍におけるトイレの使用について、市保健師及び学校の支援を受け、新型コロナウイルス感染予防対策を行い検証しました。

予 防 対 策



協力をお願い

トイレ内部の
掲示と消毒液



使用前の消毒

使用後の
手洗い消毒

新型コロナ
ウイルス対策



一方通行指導

導線の表示



清掃時防護服

清掃作業

PRポイント!

対策ポイント、①使用前に便座等全備品の消毒②使用者が対面しないように一方通行に導線表示③使用前の消毒薬設置④手洗い場にペーパータオルと消毒薬の設置⑤内部に便座用の消毒薬と使用を促す掲示⑥換気対策に屋根の一部を上げ換気用空間を確保⑦ドアの開放の協力⑧跡片付けは防護服等を着用し、清掃と消毒作業。以上の内容で行いました。

取組の効果!

トイレの設置は、父兄が主体的に行いました。また、当日は保健師が常駐し指導等を行いました。運動会もコロナ対策のため密を避けるプログラムで、トイレ使用者が分散し混乱もなく使用できましたが、課題もいくつか見つかりました。

敷地内の一方通行や、ペーパータオルの使用、手洗いと消毒で手押しポンプ使用の忘れ等について声掛け（指導）を行いました。

🔑 Key Person



下水道課 行政専門員兼
危機対策専門員 小田島毅

運動会でトイレを使用するにあたり、市役所保健師と矢本西小養護教諭と事前打合せを行い、対策を話し合いました。設置については下水道課職員が指導しましたが、今後は地域住民で自主運営を目指します。また、翌年度は他の小学校の運動会でも使用訓練を目指します。普段からの広報効果で、今年の寒波により小学校の水道管が凍結しトイレが使用できなくなり、マンホールトイレの設置について相談があり、即日対応しました。これまでの本市の取組が評価され受賞したことに感謝申し上げます。